授業科目名・形態	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ　講義		必修・選択の別		選択
担当者氏名	石岡和志・古川博文	開講期	３年・後期	単位数	2

【授業の主題】

この講義は、精神保健福祉専門職としての基本姿勢と、精神保健福祉援助技術の専門的知識を学ぶ。

【到達目標】

1）精神障害者を対象とした相談援助技術（個別援助と集団援助、関連機関との連携、家族との調整および家族支援を含む）の展開について理解する。

2）精神障害者の地域移行支援および医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。

3）精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢を理解し、地域相談援助における基本的な考え方について学習する。

【授業計画・内容】

第１回　相談援助活動の展開①
第２回　相談援助活動の展開②
第３回　相談援助活動の展開③
第４回　家族への支援の実際①
第５回　家族への支援の実際②
第６回　スーパービジョンとコンサルテーション①
第７回　スーパービジョンとコンサルテーション②
第８回　地域において主体的に生活するということ①
第９回　地域において主体的に生活するということ②
第１０回　地域を基盤とした相談援助活動の意義と展開　①
第１１回　地域を基盤とした相談援助活動の意義と展開　②
第１２回　精神障害者のケアマネジメント①
第１３回　精神障害者のケアマネジメント②
第１４回　精神障害者のケアマネジメント③
第１５回　地域に根ざした包括的な支援活動の必要性と今後の課題②

【授業実施方法】　講義形式

【授業準備】　講義内容を踏まえ復習を行い、講義中に指摘する精神障害者関連情報を新聞や参考書を用いて確認すること。

【主な関連する科目】「精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉制度論Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉援助演習」

【教 科 書 等】古屋龍太編　5『精神保健の理論と相談援助の展開Ⅰ』、
坂野憲司編　6『精神保健の理論と相談援助の展開Ⅱ』弘文堂

【参 考 文 献】田中英樹：「精神障害者の自立支援活動」中央法規、
西原理恵子：「おサケについてのまじめな話」小学館、
Ｆ・Ｐ・バイステック：「ケースワークの原則　援助関係を形成する技法」誠信書房

【成績評価方法】試験、授業態度、レポート等を総合的に判断する。

【学生へのメッセージ】

精神障害者が地域社会の中で暮らすためには様々な課題が存在する。精神に障害をもつ当事者のニーズを理解し、精神保健福祉士の役割について深く学び理解していただくことを目的としている。